



新宮

# 木協だより

2020年(令和2年)

(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会  
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号

TEL. 0735-22-6105(代)  
FAX. 0735-22-6107

URL:<http://www.shingumokkyo.com> e-mail:[s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp](mailto:s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp)



下貯木場 機能復旧後の航空写真

**(株)新宮原木市場 新春初市1月18日(土)午前10時開市**

# 新年のご挨拶

新宮木材協同組合

理事長 植松 浩

明けましておめでとうございます。旧年中は組合活動に格別のご指導・ご協力を賜り誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、当組合の上・下貯木場等の一部に建設予定の「新宮・紀宝道路」についてですが、昨年七月四日の臨時総会において下貯木場等の「組合所有地収用等の金額承認の件」・「土

て「代替地取得の件」の議案が上程され承認可決、新たな代替地を取得することとなりました。

これら代替地の取得には土地収用補償金に対する大幅な節税効果というメリットがあり、また買収により激減する土地の面積及び賃料収入を補完するという意味があります。残された土地も含め、組合資産の有効活用を図っていきたいと思えます。

さて、平成二十五年に事業化された「新宮・紀宝道路」については、一昨年の上貯木場、昨年の下貯木場等

の契約締結で組合と行政との手続きは完了いたしました。

今後のスケジュールといたしましては、上貯木場を製品・丸太置場として借りていただいている組合員さんに二月末までに下貯木場の残地部分へ移転していただき、その後、買収地である下貯木場で営業している(株)新宮原木市場に八月末までに上貯木場へ移転していただく、そして下貯木場の買収地を国交省に引き渡す、という予定となっております。関係者の皆様にはご不便・ご面倒をおかけいたしますがご協力のほ

どよろしくお願い致します。

新年を迎えるにあたり今一度組合員の皆様にご指導・ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方のご健勝・ご多幸を祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。

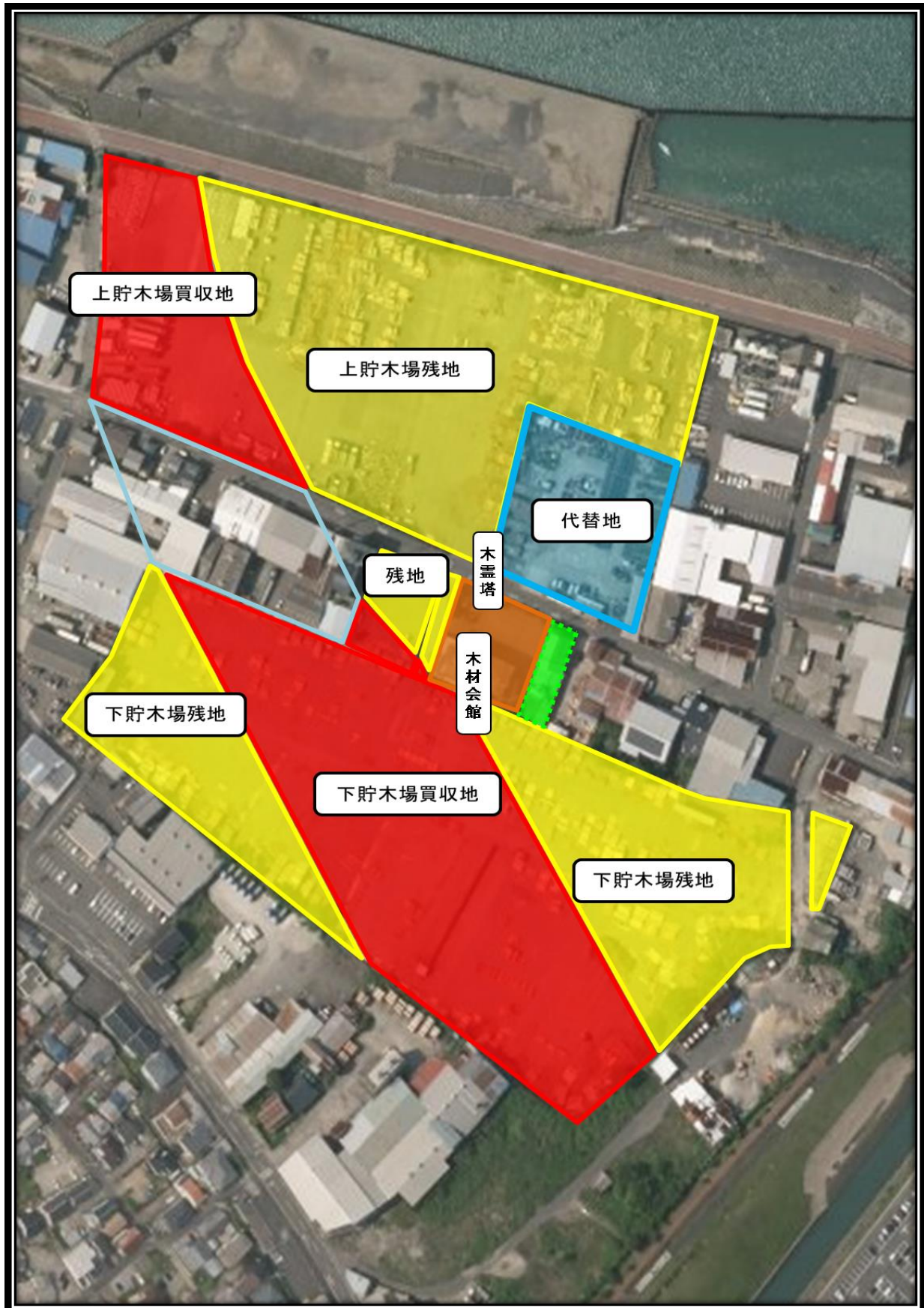
## 謹賀新年

本年も



よろしくお  
 申し上げま  
 組合員一同

# 貯木場利用計画図



# 年頭所感

(株)新宮原木市場

社長 谷口 泰仁

新年明けましておめでとうございます。

本年も原木市場に対しまして格別のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

昨年は新宮・紀宝道路事業に伴う貯木場の移転に係る契約を終了させ、選別機・皮剥機の新規導入も順調に進めております。その関係で皆様には、貯木場の減少、皮剥き機事業の一時中断(現在は再開しております)、未引取材の早期お引き取り等多くのご迷惑を

お掛け致しました。ただ、この新宮原木市場

が地域の原木流通機関であるという意識を強く持ち、貯木場の移転に関連して皆様にはご迷惑を掛けないよう心掛けて役職員一同懸命に運営を行って参りました。

そうした中で、昨年に引き続き本年も弊社で山林を購入し今以上に取扱量を増やすべく、「待ち」の姿勢でなく、「攻め」の姿勢で多くの良材を提供できるよう努力して行く所存です。又、これまでも行

なって参りましたお客様の立場に立ったきめの細かい応対、更に一歩進めたお客様の求め

を先取りした形の対応等お客様目線での迅速な接客・運営について全役職員が心掛けて参ります。又、2年後の春には新宮港へ1万キロワットを超える木質バイオマス発電所が完成する予定です。この事により、紀南地域の木材の流れが激変することが容易に想像でき、この事態に弊社もしっかりと対応して行かないことはなりません。バイオマス関係の取扱量を増やし、更には良材の集荷も同様に力を入れ皆様方から無くてはならない存在だと再認識して頂けるよう役割

をしつかり果たしたいと思っております。

最後に今年の夏頃を目標として現在使用している下貯木場を返還し、上貯木場へ移転する予定となっております。それに先立ち、上貯木場をご利用しております皆様には昨年12月末から2月末での移転をお願いしており、ご迷惑をお掛けしておりますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。私共も市場の業務を止めることがないよう移転を行い、市を休むことなく営業を続けて参りたいと思っております。更なるご協力をお願い致します。

新年早々皆様方にはお願ひする事ばかりであります。木材の町新宮に在つてその中心的役割を果たしてきた自負を持ち新宮から原木市場の火が消えないように役職員一丸となつて頑張つて参りますので関係の皆様方には更なるご支援・ご協力をお願い致しまして新年にあたりご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

旧年中の  
お引立てとご愛顧に  
厚く御礼申し上げます  
本年も倍旧のお引立て  
を賜りますよう  
お願い申し上げます  
(株)新宮原木市場役職員一同



新宮・紀宝道路関係

【売買契約書の締結】

7月4日に開催した臨時総会で承認されたことを受けて9月20日、植松理事長、谷口副理事長、瀬古副理事長立合いの下、新宮木材協同組合会議室に於いて国交省、和歌山県と土地売買契約を締結し、更に和歌山県及び新宮木協、(株)山一木材等との三者契約を締結致しました。



契約締結の様子

【特別委員会の開催】

収用補償金に対する節税対策として、代替資産の買替特例が認められており、当組合でもこの制度を利用して土地が収用された分について他の土地を求めるとの考えのもと、代替地取得する方向で特別委員会を開催して議論を行いました。節税効果や有効利用の面で前向きな意見や新宮の経済情勢から判断し新たに資産を取得することに慎重姿勢の意見もあり、組合員の皆さんは木協の将来を見据えた様々な意見交換を行い、12月16日に臨時総会を開催することとなりました。



特別委員会の様子

【臨時総会を開催】

新宮・紀宝道路の事業化に伴う組合所有地の収用に関連して有効利用出来る土地を取得し併せて節税を図るために代替地を取得することを12月16日に開催した臨時総会に於いて提案し承認可決されました。出席者27名(本人19名、代理人4名、委任状4名)



臨時総会の様子

【工事の進捗状況】

下貯木場の盛土・舗装工事の完成検査が昨年12月23日に行われ、翌24日、引渡しが行われました。上貯木場利用者には2月末までに新貯木場への移転をお願いしている状況となっております。



貯木場の様子

高速道路の本体工事については新宮原木市場が今年の夏頃に上貯木場へ移転が完了次第随時行われる予定となっております。

新宮秋まつり記念市

毎年恒例の新宮秋まつり記念市が昨年10月16日・午前10時から開催されました。

今回も前年同様、思うような集荷が出来ず出荷量が少なくなりましたが、木主、買方等皆さんの協力で大いに盛況で終わりました。集荷量：607m<sup>3</sup> 平均単価：1万800円

杉：1万800円  
桧：1万2200円



新宮秋まつり記念市の風景

キャラバン活動

12月6日(金)

公共建築物に於ける紀州材の利用促進を図るため和歌山県木連、和歌山県森連、紀州林業懇話会で組織する和歌山県木材利用推進協議会では、例年和歌山県下自治体を訪問してキャラバン活動を行っています。当地域では新宮木材協同組合が中心となり昨年も次の通り実施し紀州材のPRに努めました。その中で今回は初めて新緑会の野中会長が参加し、一緒にPR活動を行いました。太地町では平成29年度に木協を通じて新緑会が納めた道の駅『たいじ』の備品で多くの紀州材を使用し、頂いた事に対する感謝の言葉を述べ、更に他の

事業がある際は、木材を使つて頂けるようお願いしました。

午前9時30分〜  
北山村を訪問



午前11時30分〜  
新宮市を訪問



午後1時〜  
那智勝浦町を訪問



午後1時45分〜  
太地町を訪問



日本木工機械展  
ウッドエコテック

日本木工機械展「名古屋場所」ポートメッセ名古屋  
期間…10月3日(木)〜  
6日(日) 4日間

主催…一般社団法人  
日本木工機械工業会

2年に1度、名古屋で開催している日本木工機械展へ10月5日(土)に新緑会のメンバー数名と参加させて頂きました。入場者数は4日間で延べ24,572人でした。今回からは木工機械の展示の他に、『ウッドワンダーランド2019』と題して一般の方や子供を対象とした出展エリアを設け、木材の新たな利用や各県・企業の特徴などを体験できる展示スペースがあり大いに盛り上がりました。本命の木工機械展では、機械を入れる、入れないという話ではなく、未来の時代の流れを体感し、世の中の求めるものや業者としてどこを目指すべきかという方向性を実感出来る機会となりました。

又、『ウッドワンダーランド2019』では最近よく耳にする木育関係やプラスチックに代わる木材利用等の展示が多く見られ中でも、おもちゃやワークショップ、遊び体験エリア等も充実しており一般の方が楽しめるものとなっていました。次は2021年の開催になります。機械を入れる予定がなくても先進的な知識の学習の場として最適ですので是非ご検討下さい。

(山本 盛都)



ワークショップの風景



最先端機械の風景

木質バイオマス  
発電施設起工式典

10月25日(金)木質バイオマス発電所の起工式が新宮市佐野の新宮港第二期工業用地で25日、「エフオン」(東京都)のグループ会社「エフオン新宮」主催で挙行されました。当組合を代表して理事長植松 浩氏が招待を受け、式典へ参加してまいりました。「エフオン新宮」が行う木質バイオマス発電所は2022年春の操業開始を目指し、発電出力1万8千キロワット、年間約18万トンの木質燃料を使用するほか、約40人を雇用する計画である。また、木質チップ製造工場も併

設する予定となっております。

式には、同社や施工業者、田岡実千年新宮市長ら関係者約60人が参列し神事を営み、工事の無事などを祈願しました。



式典の様子

全木連会長賞受賞

森谷 功 氏

令和元年11月6日

高知県高知市『高知市文化プラザかるぼーと大ホール』で行なわれた第54回全国木材産業振興大会に於いて木材産業功労者として長年新宮木材業界で活躍されている、当組合理事の森谷 功氏が全木連会長賞を受賞されました。表彰状の授与は当組合理事会にて理事長より授与させて頂きました。



表彰状の授与

第33回木原造林(株)  
優良材特別市

日時:令和元年11月8日  
午前10時~

場所:三重県松阪市  
ウツドピア松阪

三重県松阪市にあるウツドピア松阪にて第33回木原造林(株)優良材特別市が盛大に行われました。昨年は残暑も厳しく雨も多い気象条件で伐出作業も滞ることが多かったが5000㎡以上の良質な丸太が集まっておりました。

競りが始まると各所で買方向士の競り合いが次々と繰り広げられ、価格がどんどん競りあがっております。

その中でも、午後の最初の競りの銘木コーナーは1㎡当たり100万円です。計算すると144万円の値段がついた桧もあり、大変活気がありました。その他にも1㎡70万円

や80万円の値が付く桧が数多くあり、大盛況に終わりました。



最高値の丸太(桧)



競りの様子



岩本社長の挨拶





出張

木工教室

紀南木材新緑会では新宮市の小学校を対象に、木のぬくもりに触れ、木に親しんでもらい、木の街新宮に住む子供に一度はノコギリ・金づちを使つて何かを作つたことがあると言つてもらえることを目的として、出張木工教室を毎年開催しています。

昨年、森林教育として実際に立木を前に新宮の木材の歴史・木の成長に掛かる時間・山の役割等を説明し、「木」の役割を理解して頂きました。その後、実際に測る・線をひく・切る・打つ等の作業を行つて頂きミニベンチを製作しました。慣れない工具に苦労しながら木と真剣に向き合い、楽しそうにしている子供達に、改めまして活動の意義を感じました。この活動を通して、子供達の心に木と触れ合った記憶

が刻まれ、少しでも興味を持つて頂けたら幸いです。

更に、県の緑育事業で串本方面の依頼のあった小学校へも出向き木工教室を行っています。こちらも子供たちにとっても楽しんでもらっています。

最後に本事業にご参加、ご協力頂いた全ての皆様、心より御礼申し上げます。又、森づくり基金等の補助金を活用させて頂き本当に有難うございます。

今後とも未来ある世代に木と親しむ時間を提供し、木に触れあえる場を作つて参ります。

(岡崎 俊樹)



木に関する説明



完成後の感想



製作風景



製作風景

第41回 児童生徒

木工工作コンクール

令和元年9月28日・29日の両日、第41回 児童生徒徒木工工作コンクールを開催致しました。来場者数は361名と大幅に増加致しました。来場された方々には本当に感謝申し上げます。

恒例となった各種イベントも好評でしたが、今回初めて和歌山県がブースを出展し原木の目利きから製材の木取りを体験できる『セーザイゲーム』を実施しました。来場された子供や大人達が「どの丸太が節の少ないものか」や「点数の高い木取りはどれだろう」と試行錯誤しながら楽しんで頂きました。

本展では29校、512点の木工作品を展示し、上位3点は、全国大会の審査にエントリーされ、その中で優秀作品に選ばれた際は今年6月に宮城県で行われる全国大会で表彰される予定です。木工展に協賛ください。



「セーザイゲーム」の様子



和歌山県知事賞受賞作品



審査の風景

た各団体の方々、各小中学校の先生方、その他お世話になった皆様方に厚くお礼申し上げます。(中谷 友哉)

創立 60 周年

記念懇親会

紀南木材新緑会

創立 60 周年記念 懇親会

11 月 29 日 (金)

午後 6 時 ~

場所: 養老館

昨年の 2019 年は紀南木材新緑会が創立して 60 周年 (人間で言う還暦) を迎える年でした。そのことを記念して来賓を招待し、記念懇親会を養老館で開催いたしました。当日は来賓として新宮木材協同組合 理事長 植松浩氏をはじめ木協組合員、新緑会賛助会員と総勢 29 名の方に出席を賜りました。

式典はまず、新緑会副会長 野地 陽介氏が開会の挨拶を行い、続いて来賓を代表し植松理事長に祝辞を頂戴致しました。歓談した後、出席いただいた歴代の会長 (代表の

4 名) から当時の思い出話や事業を立ち上げた時の苦労等を語って頂きました。その中で第 23 代会長の吉田一茂氏のお話で「今の若い方が、私達が作った事業を今も継続して続けてくれている事に本当に感謝している。時代も変わり色々苦労する事もあると思うができる範囲で頑張って頂きたい」と述べられた。

最後に、新緑会 会長 野中 亮伸氏より閉会の挨拶を行い終了いたしました。

大変盛り上がり、現在行っている事業の成り立ちや熱量等を感じられ、大変有意義な時間となりました。

今後 70 周年 (古希) を目指し、先輩方に負けないうよう自分達の熱量で邁進してまいりますので、ご指導・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(野中 亮伸)



閉会の挨拶 (野中会長)



歴代会長からのお話 (吉田氏)



懇親会の様子



来賓代表の挨拶 (植松理事長)

# 紀南木材新緑会

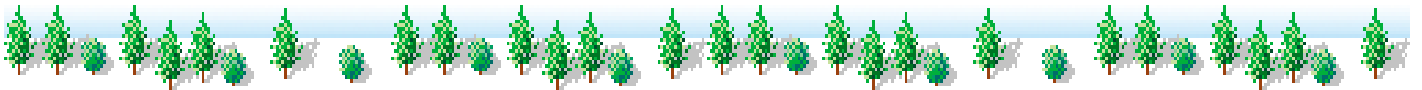
The 60th Anniversary

## 創立 60 周年記念

## 懇親会



# 第60回木霊塔建立供養式



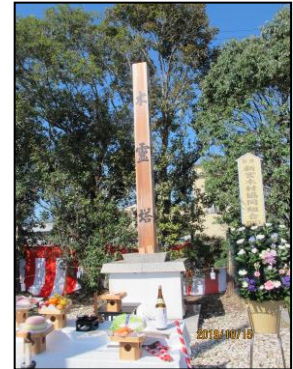
令和元年10月15日組合恒例行事の第60回木霊塔建立供養式を開催致しました。令和という新しい時代と木霊塔行事60回目の節目に当組合の理事長 角新木材(株) 代表取締役 植松 浩氏に、杉100年生超の素晴らしい木霊塔をご献木頂きました。植松氏は昭和37年に祖父新十郎氏、平成9年の父康員に続き三代目の献木となります。また、熊野の地で多くの森林資源を所有され、その利活用を図ると共に、新宮の木材業界に於いては我々の絶大なリーダーとして難しい時代のかじ取りを行って頂いております。当日は秋晴れの爽やかな晴天の中で、本広寺清水文雅住職にお勤め頂き滞りなく厳かに供養を執り行ない式典終了後は、木工展表彰式、紀南木材新緑会員に木協組合員も加わった木遣り音頭(本年は1番、2番、3番の歌詞で)の披露その後、盛大な餅まきが行なわれ、その後組合員・新緑会の有志にて片付けを行ないました。今回は来賓との懇親会を取り止め、その日の夜に木霊塔行事に協力頂いた、組合員と新緑会の有志を対象にした慰労会を行ない無事終了致しました。



木霊塔揮毫  
(献木者を囲んで)



植松 浩氏による祭文



植松浩氏 献木の木霊塔

## ◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	令和元年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	7,800 (7,100)	7,700 (9,300)	7,700 (8,000)	4	6~13
	3m 14~20	8,900 (11,500)	8,500 (11,800)	8,700 (10,300)	3	14~20
	3m 22cm上材	12,200 (10,200)	10,100 (12,800)	9,700 (11,900)	3	22~
	4m 14~22	9,100 (9,900)	9,500 (11,700)	9,800 (10,400)	4	14~22
	4m 24cm上材	11,200 (13,700)	11,400 (15,100)	11,400 (13,000)	4	24~
檜	4m 小丸太材	7,700 (7,100)	7,800 (7,700)	7,800 (7,600)	4	6~13
	3m 14~20	10,400 (12,200)	10,200 (14,500)	9,800 (13,000)	3	14~20
	3m 22cm上材	12,600 (14,400)	14,300 (16,800)	10,500 (12,800)	3	22~
	4m 14~22	10,000 (13,400)	10,500 (15,200)	10,800 (13,900)	4	14~22
	4m 24cm上材	17,900 (18,100)	14,800 (20,600)	12,000 (19,700)	4	24~
杉総平均単価		10,200 (11,100)	10,100 (13,300)	10,200 (11,500)		
檜総平均単価		12,100 (13,400)	11,600 (15,200)	10,800 (14,300)		
総平均単価		10,500 (11,900)	10,400 (13,800)	10,400 (12,000)		

m<sup>3</sup>単価 ( ) は平成30年度

8月29日、新宮木材会館に於いて(株)新宮原木市場の第54期定時株主総会が開催され、提出議案はすべて原案通り承認可決され、監査役の任期満了につき選任の件で

**(株)新宮原木市場  
第54期  
定時株主総会**



谷口社長の挨拶

監査役 山下 幸二  
| 監査役再任 |  
は監査役全員が留任となりました。

